

令和7年度入試（令和6年度実施）の解答・解答例について

入試区分	大学院（一次募集）
試験区分	小論文
解答・解答例	<p><b>【解答例】</b></p> <p>わが国の高齢化は、過去に経験したことのない速度で進展している。図1によると、調査に回答した高齢者全体のうち、健康状態が「良くない」と回答した者は約25%であるが、年齢が高くなるほど、「良くない」と回答する者が増えることを示している。このことは、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を契機に、健康状態が良くないとする高齢者の増加が予測される。しかし、図2によると、健康を心がけている者の健康状態は、心がけていない者より「良い」と回答した者が多く、健康を維持するために何らかの取り組みをすることが良い健康状態を保つことにつながる可能性を示唆する。また、図3によると、「地域の活動への参加」や「散歩やスポーツをする」、「趣味を持つ」などを心がけている者の健康状態が「良い」と回答している者が多い。これらは、他者との交流が健康維持に効果的である可能性を示唆する。このことは、図4に示されたように、社会活動に参加した者が参加していない者より健康状態が「良い」と回答していることから推測できる。</p> <p>以上は、コミュニティ活動の重要性を示唆している。しかし、近年は、核家族化などにより、一人暮らしの高齢者も増加しているだけでなく、地域のつながりも希薄となっている。現在、厚生労働省が「地域包括ケアシステム」の推進を図っているが、高齢者が希望する時に、必要な支援を受けられるシステムの構築が必要である。このシステムを構築するにあたり、それぞれの地域の特性を反映することにより、実現可能性が高まる。現在、既に行われている地域での取り組みから活用できる資源を洗い出し、地域の特徴に応じた効果的な高齢者の健康維持・向上に向けた社会活動を提案できると考える。また、少子化が進行している昨今、子育ての課題と高齢者の健康維持・向上のための活動を組み合わせることにより、両者の問題解決の可能性を探ることも可能であると考え。</p> <p>(795字)</p>
備考	解答例はあくまで標準的な解答の一例です。